

新型コロナウイルス感染症に関する岡谷市経済対策に向けた連携の強化

2020年5月11日

岡谷市と商工会議所による新型コロナウイルス感染症対応の情報交換会

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、市内の多くの業種で事業活動の縮小を余儀なくされている。

市内企業の事業活動と雇用を守り、この深刻な危機を乗り越え、地域経済を着実に回復させるためにも、岡谷市および岡谷商工会議所は以下の考えを共有し、連携して地域の実情に合った経済対策を講じることとする。

1. 各組織が有するネットワークを活用し、市内企業の声を隅なく把握するとともに相互に共有し合うことで、時宜にかなった支援策を展開する。
2. 岡谷市・岡谷商工会議所間で密に連携を図り、それぞれが有する知見・ノウハウを活かすことで、必要な支援の手が確実に行き届くよう努める。
3. 役割分担を明確にし、相互に補完し合う支援策を実施・展開することで、取組の効果を最大限引き上げる。
4. 各種支援策の実施に当たっては、両組織から確実に情報発信を行うことで市内隅々まで必要な情報が行き渡る環境を構築する。

以上

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済対策 (第2弾)

① 飲食店等利用促進及びオカヤペイ普及促進事業

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、飲食店等の感染防止策の推進及び宅配・テイクアウトサービスの取組を支援することで、飲食店等の売上維持と市民の感染リスクの低減を図る。
- ・具体的には、以下の取組を推進する。
 - (ア) 飲食店のテイクアウト等情報をまとめた広報紙を作成し全戸配布する (約 25,000 部)
 - (イ) 飲食店等の感染防止策 (パーティション設置、マスク・消毒液の購入等) やテイクアウト等に係る諸経費を補助 (10/10 補助、補助上限 10 万円、1 回限り)
 - (ウ) 宅配・テイクアウトを 2 回利用毎にオカヤペイポイント 500pt を進呈

② 商業等事業継続緊急支援事業 (家賃相当額の一部補助)

- ・外出自粛等の影響により売上が急減する中、市内商業者を中心に家賃等の固定費負担が経営を圧迫させている。
- ・そのため、“1ヶ月間の売上が前年同月比 50%以上減少” もしくは“3ヶ月間の売上が前年同期比 30%減少” している市内商業会会員事業者等に対し、4～6月までの3ヶ月分の家賃について、補助率 1/3 以内で補助する。補助上限額は 6 万円 (3 か月分合計)。

※支援対象の商業者 (下記の商業会等の会員事業者)

童画館通り、イルフプラザ店舗会、イルフプラザアミューズメント管理組合、いとまち商業会、本町商業会、新屋敷商業会、銀座商業会、田中通り商業会、広域商業会、レイクウォーク岡谷テナント商店、ライフガーデン岡谷、岡谷市商業連合会

※市「商業等活性化補助金」による家賃補助を受けている事業者は対象外とする。

③ 商店街街路灯の電気料臨時支援事業

- ・外出自粛等の影響により、商店街全体の売上が急減しており、街路灯の維持管理も大きな負担となっている。
- ・現在、市内商業会 (6 団体*) が管理運営する街路灯については、電気料の年額 1/3 分 (上限 27 万円) を補助しているところ、残りの商業会負担分 (年間街路灯電気料の約 2/3 分) についても追加補助することで、1 年間分の街路灯電気料負担をゼロにする。

※童画館通り、中央通り 4 丁目、いとまち商業会、新屋敷商業会、銀座商業会、東銀座商業会